
一般論文

近年出版された教科書からみる保育内容関係科目の学習内容

－保育内容「健康」および保育内容「環境」の教科書の内容の分析を通して－

Learning Items of Courses on Contents of Child Care Captured from Recently Published Textbooks －Analysis of Textbooks Concerning of Childcare Content Health and of Childcare Content Environment－

澤 田 孝 二

Koji SAWADA

概 要

保育内容「健康」および保育内容「環境」の教科書の中で扱われている内容の分析を通して、次のようなことがわかった。

保育内容「健康」の８種類の教科書の半数以上で主要事項として取り上げられ、扱われる頻度が高かった内容には、子どもの基本的生活習慣や生活リズム、子どもの安全、子どもの心身や運動面の発達、保育者の役割、領域健康のねらいや内容、戸外遊び、などが挙げられた。逆に、重要な事項だと思われるが、意外と扱われる頻度が低かった内容には、保育者にとっての健康、子どもの健康を守るガイドライン、子どもの体力・運動能力の測定・評価、保育の計画や指導案の作成、保育の評価などが挙げられた。

保育内容「環境」の８種類の教科書の半数以上で主要事項として取り上げられ、扱われる頻度が高かった内容には、自然や生き物との関わり、文字や標識・数や図形・物や道具などとの関わり、５領域や領域環境、子どもの発達、保育・幼児教育の基本、子どもを取り巻く環境の現状と課題、園の環境や地域との関わり、季節の変化などが挙げられた。逆に、重要な事項だと思われるが、意外と扱われる頻度が低かった内容には、自然を取り入れた遊び、環境教育、科学遊び、指導計画、保育の評価などが挙げられた。

キーワード：教科書、学習内容、保育内容「健康」、保育内容「環境」

1. はじめに

保育士資格、幼稚園教諭免許の取得を目指す学生は、在学中にたくさんの講義・演習・実習科目を履修し、卒業後に専門職に就くために必要とされる知識や技能を習得していく。大学で学ぶ過程において、学生は各履修科目の学習のために科目担当教員から呈示される教科書や参考図書等を活用しながら、日々学習し、レポートを書いたり、定期試験に備えたりする。

保育内容「健康」および保育内容「環境」は、他の３領域とともに、保育士資格、幼稚園教諭免許を取得するための必修科目として位置づけられており、これらの科目の学びを支える教科書や参考図書がいくつもの出版社から出版され、多くの大学、短大、専門学校で採用されている。

本研究においては、保育内容関係科目のうち、現在筆者が科目を担当している保育内容「健康」および保育内容「環境」について、近年出版された教科書の内容を分析し、どのような知識や技術

の習得を期待して出版されているのかを考えてみることにした。

2. 方 法

現在筆者が科目を担当している保育内容「健康」および保育内容「環境」について、近年出版社から出版された教科書のうち、入手できた保育内容「健康」および保育内容「環境」の教科書各8種類を用いて、日々の学習を支えるこれらの教科書がどのような内容で構成されているのかを分析することにより、学ぶ学生にどのような知識や技術の習得を期待して出版されているのかを考えてみることにした。

分析は、保育内容「健康」の教科書8種類、保育内容「環境」の教科書8種類の中で扱われている学習内容を整理していき、各科目ごとにどのような内容が重要事項として扱われることが多いか、逆に扱われることが少ないかを明らかにしていくことにした。すなわち、内容を分析した各教科8種類の教科書に1～8の番号をつけて教科書1～教科書8と表示し、それぞれ重要事項としてかなりの頁を割いて扱われている内容を一覧表に整理していった。分析した教科書の中で扱われていれば該当箇所に○印を付ける形をとり、表を見ることにより、どのような内容が多く教科書で扱われているのか、逆にどのような内容が扱われることが少ないのかが、○印の数である程度把握できるようにした。また、同一の項目であっても、教科書によってその名称は様々に表現されていたため、同じと思われるものはこちらで表現方法の統一を図った。

3. 結果と考察

(1) 保育内容「健康」の教科書で主要事項として扱われている内容

1) 各教科書で主要事項として扱われていた内容の種類

表1は、分析した保育内容「健康」の8種類の教科書において、それぞれ重要な事項として位置づけられ、かなりの頁を割いて扱われている内容を整理したものである。

表1に示すとおり、各教科書の中で重要な事項として位置づけられ、かなりの頁を割いて扱われ

ている内容は、「保育・幼児教育の基本」、「現代の保育の課題」、「教育・保育の思想」、「園での子どもの生活」、「保育者の役割」、「環境を通して行う教育とは」、「保育環境のあり方」、「保育の環境構成」、「保育内容とは」、「5領域とは」、「領域健康とは」、「領域健康の歴史的変遷」、「領域健康のねらい」、「領域健康の内容」、「領域健康と保育の実際」、「領域健康の実践上の留意点」、「健康とは」、「子どもにとっての健康とは」、「保育者にとっての健康とは」、「子どもの健康な心と体」、「子どもの生活の現状」、「子どもの健康の現状と課題」、「子どもの遊びの現状」、「子どもの体力・運動能力の現状と課題」、「子どもの健康への関心を高めるには」、「子どもの活動意欲を高めるには」、「子どもの運動への関心を高めるには」、「子どもの体の発達」、「子どもの心の発達」、「子どもの運動発達」、「運動遊びとは」、「戸外遊びの大切さ」、「道具を使った遊び」、「固定遊具での遊び」、「ボール遊び」、「園庭での遊び」、「水遊び」、「運動に関わる行事」、「子どもの運動指導のあり方」、「体力・運動能力の測定・評価」、「食育への取り組み」、「健康的な生活リズム」、「基本的生活習慣の形成」、「生活習慣形成のための保育者の役割」、「生活習慣形成のための家庭との連携」、「睡眠・食事・排泄・衣服・清潔」、「安全管理・事故防止」、「安全教育・安全指導」、「子どもの健康を守るガイドライン」、「病気への対応」、「子どもと体温」、「保育の計画」、「指導計画と領域健康」、「指導案の作成」、「保育の評価」、「小学校教育との関連性」、以上の56種類に分類することができた。

このように、保育内容「健康」の教科書において、主要事項として扱われている内容には、①「保育・幼児教育の基本」、「現代の保育の課題」、「教育・保育の思想」、「園での子どもの生活」、「保育者の役割」、「環境を通して行う教育とは」、「保育環境のあり方」、「保育の環境構成」、「保育内容とは」、「5領域とは」、「小学校教育との関連性」などのように学生が保育や教育に関する学習を進めていく上で基本的に重要だと思われる事項、②「領域健康とは」、「領域健康の歴史的変遷」、「領域健康のねらい」、「領域健康の内容」、「領域健康と保育の実際」、「領域健康の実践上の留意点」などのように領域健康についての理解を深めてい

く上で重要だと思われる事項、③「健康とは」、「子どもにとっての健康とは」、「保育者にとっての健康とは」、「子どもの健康な心と体」などのように健康についての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、④「子どもの生活の現状」、「子どもの健康の現状と課題」、「子どもの遊びの現状」、「子どもの体力・運動能力の現状と課題」などのように今日の子どもたちの現状や課題についての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、⑤「子どもの健康への関心を高めるには」、「子どもの活動意欲を高めるには」、「子どもの運動への関心を高めるには」などのように子どもの健康・運動・活動などの意識を高める方法についての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、⑥「子どもの体の発達」、「子どもの心の発達」、「子どもの運動発達」などのように子どもの発育発達についての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、⑦「運動遊びとは」、「戸外遊びの大切さ」、「道具を使った遊び」、「固定遊具での遊び」、「ボール遊び」、「園庭での遊び」、「水遊び」などのように子どもの体を使った遊びについての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、⑧「運動に関わる行事」、「子どもの運動指導のあり方」、「体力・運動能力の測定・評価」などのように運動行事・運動指導・運動能力測定の方法などについての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、⑨「食育への取り組み」、「健康的な生活リズム」、「基本的生活習慣の形成」、「生活習慣形成のための保育者の役割」、「生活習慣形成のための家庭との連携」、「睡眠・食事・排泄・衣服・清潔」などのように健康的な生活習慣の形成などについての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、⑩「安全管理・事故防止」、「安全教育・安全指導」などのように子どもの安全についての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、⑪「子どもの健康を守るガイドライン」、「病気への対応」、「子どもと体温」などのように子どもの健康管理についての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、⑫「保育の計画」、「指導計画と領域健康」、「指導案の作成」、「保育の評価」などのように計画立案や評価についての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、以上12の事項に分類することができた。

2) 7種類以上の教科書で主要事項として扱われていた内容

表1において○印が8つ付き、すべての教科書で主要事項として扱われていた内容として、「基本的生活習慣の形成」、「安全管理・事故防止」、「安全教育・安全指導」の3つが挙げられた。

表1において○印が7つ付き、7種類の教科書で主要事項として扱われていた内容として、「子どもの体の発達」、「子どもの心の発達」の2つが挙げられた。

このように、8種類の教科書のうち7種類以上で主要事項として扱われていた内容には5つの事項が挙げられ、多くの教科書において、子どもの基本的生活習慣、安全、心身の発達に関する内容が、保育内容「健康」を学ぶ上できわめて重要な事項として位置づけられていることがわかった。

3) 5～6種類の教科書で主要事項として扱われていた内容

表1において○印が6つ付き、6種類の教科書で主要事項として扱われていた内容として、「園での子どもの生活」、「保育者の役割」、「領域健康の内容」、「子どもの運動発達」、「食育への取り組み」、「健康的な生活リズム」の6つが挙げられた。

表1において○印が5つ付き、5種類の教科書で主要事項として扱われていた内容として、「領域健康とは」、「領域健康のねらい」、「戸外遊びの大切さ」、「生活習慣形成のための家庭との連携」、「睡眠・食事・排泄・衣服・清潔」の5つが挙げられた。

このように、8種類の教科書のうち5～6種類で主要事項として扱われていた内容には11の事項が挙げられ、保育者の役割、領域健康のねらいや内容、生活リズムや基本的生活習慣、園での生活、戸外遊び、運動発達などに関する内容を、保育内容「健康」を学ぶ上で重要な事項として位置づけている教科書が半数以上を占めていることがわかった。

4) 3～4種類の教科書で主要事項として扱われていた内容

表1において○印が4つ付き、4種類の教科書で主要事項として扱われていた内容として、「保育の環境構成」、「子どもにとっての健康とは」、「運動遊びとは」、「道具を使った遊び」、「園庭で

の遊び」、「生活習慣形成のための保育者の役割」の6つが挙げられた。

表1において○印が3つ付き、3種類の教科書で主要事項として扱われていた内容として、「保育環境のあり方」、「5領域とは」、「健康とは」、「子どもの生活の現状」、「子どもの体力・運動能力の現状と課題」、「子どもの健康への関心を高めるには」、「子どもの運動指導のあり方」、「病気への対応」、「指導計画と領域健康」の9つが挙げられた。

このように、8種類の教科書のうち3～4種類で主要事項として扱われていた内容には15の事項が挙げられ、保育の環境、子どもの健康、体を使った遊びやその指導、子どもの生活や体力などの現状や課題、子どもの健康や生活習慣への保育者の関わり、指導計画などに関する内容を、保育内容「健康」を学ぶ上で重要な事項として位置づけている教科書が半数近くあることがわかった。

5) 1～2種類の教科書で主要事項として扱われていた内容

表1において○印が2つ付き、2種類の教科書で主要事項として扱われていた内容として、「保育・幼児教育の基本」、「環境を通して行う教育とは」、「領域健康と保育の実践」、「保育者にとって

の健康とは」、「子どもの健康な心と体」、「子どもの健康の現状と課題」、「子どもの遊びの現状」、「子どもの活動意欲を高めるには」、「固定遊具での遊び」、「ボール遊び」、「子どもの健康を守るガイドライン」、「子どもと体温」、「保育の評価」、「小学校教育との関連性」、以上14の内容が挙げられた。

表1において○印が1つ付き、1種類の教科書で主要事項として扱われていた内容として、「現代の保育の課題」、「教育・保育の思想」、「保育内容とは」、「領域健康の歴史の変遷」、「領域健康の実践上の留意点」、「子どもの運動への関心を高めるには」、「水遊び」、「運動に関わる行事」、「体力・運動能力の測定・評価」、「保育の計画」、「指導案の作成」、以上11の内容が挙げられた。

このように、8種類の教科書のうち1～2種類で主要事項として扱われていた内容には23の事項が挙げられ、保育や教育の基本、領域健康の歴史、子どもの遊びや健康の現状、保育者の健康、固定遊具での遊びや水遊び、子どもの健康のためのガイドライン、運動能力の測定や評価、保育の計画や指導案作成などに関する内容を、保育内容「健康」を学ぶ上で重要な事項として位置づけている教科書は、比較的少ないことがわかった。

表1. 保育内容「健康」の各教科書の中で重要事項としてかなりの頁を使って扱われている内容

重要事項としてかなりの頁 を使って扱われている内容	教科書 1	教科書 2	教科書 3	教科書 4	教科書 5	教科書 6	教科書 7	教科書 8
保育・幼児教育の基本				○			○	
現代の保育の課題							○	
教育・保育の思想				○				
園での子どもの生活	○	○	○			○	○	○
保育者の役割			○	○	○	○	○	○
環境を通して行う教育とは						○	○	
保育環境のあり方			○			○	○	
保育の環境構成			○	○		○	○	
保育内容とは		○						
5領域とは		○	○				○	
領域健康とは	○	○		○		○	○	
領域健康の歴史の変遷				○				
領域健康のねらい		○	○		○	○	○	
領域健康の内容		○	○	○	○	○	○	
領域健康と保育の実践			○	○				
領域健康の実践上の留意点				○				
健康とは	○	○			○			
子どもにとっての健康とは	○	○				○		○
保育者にとっての健康とは		○				○		

子どもの健康な心と体						○		○
子どもの生活の現状			○			○		○
子どもの健康の現状と課題							○	○
子どもの遊びの現状					○	○		
子どもの体力・運動能力の現状と課題			○			○	○	
子どもの健康への関心を高めるには				○		○		○
子どもの活動意欲を高めるには				○	○			
子どもの運動への関心を高めるには				○				
子どもの体の発達	○	○	○	○	○	○		○
子どもの心の発達	○	○		○	○	○	○	○
子どもの運動発達	○		○	○		○	○	○
運動遊びとは			○		○	○		○
戸外遊びの大切さ		○	○	○	○	○		
道具を使った遊び	○		○			○	○	
固定遊具での遊び			○				○	
ボール遊び	○						○	
園庭での遊び	○		○			○	○	
水遊び	○							
運動に関わる行事			○					
子どもの運動指導のあり方	○		○			○		
体力・運動能力の測定・評価			○					
食育への取り組み	○	○	○	○	○			○
健康的な生活リズム	○		○	○	○	○		○
基本的生活習慣の形成	○	○	○	○	○	○	○	○
生活習慣形成のための保育者の役割	○		○				○	○
生活習慣形成のための家庭との連携	○			○	○	○	○	
睡眠・食事・排泄・衣服・清潔	○		○		○	○	○	
安全管理・事故防止	○	○	○	○	○	○	○	○
安全教育・安全指導	○	○	○	○	○	○	○	○
子どもの健康を守るガイドライン		○						○
病気への対応				○	○	○		
子どもと体温	○							○
保育の計画			○					
指導計画と領域健康			○	○	○			
指導案の作成					○			
保育の評価			○		○			
小学校教育との関連性						○		○

(2) 保育内容「環境」の教科書で主要事項として扱われている内容

1) 各教科書で主要事項として扱われていた内容の種類

表2は、分析した保育内容「環境」の8種類の教科書において、それぞれ重要な事項として位置づけられ、かなりの頁を割いて扱われている内容を整理したものである。

表2に示すとおり、各教科書の中で重要な事項として位置づけられ、かなりの頁を割いて扱われている内容は、「保育・幼児教育の基本」、「現代の保育の課題」、「教育・保育の思想」、「保育者の役割」、「保育者に必要な資質」、「環境を通して行

う教育とは」、「生きる力を育む環境とは」、「保育の環境構成」、「保育内容とは」、「5領域とは」、「領域環境とは」、「教育課程・保育課程と領域環境」、「領域環境の歴史的変遷」、「領域環境のねらい」、「領域環境の内容」、「環境という言葉の意味」、「子どもにとっての環境とは」、「子どもの生活と環境の関わり」、「保育環境のあり方」、「環境への関わりを促す保育者の役割」、「領域環境と保育の実際」、「領域環境の実践上の留意点」、「子どもを取り巻く環境の現状と課題」、「子どもの生活の課題」、「子どもの発達」、「子どもの環境と関わる力の発達」、「自然との関わり」、「自然を取り入れた遊び」、「季節の変化」、「生き物との関わり」、「植

物との関わり」、「物や道具との関わり」、「文字や標識との関わり」、「数や図形との関わり」、「身近な情報との関わり」、「科学遊び」、「地域との関わり」、「行事との関わり」、「園の環境との関わり」、「安全に配慮した環境」、「環境教育」、「子育て支援と領域環境」、「気になる子ども・障害児と環境」、「保育の計画」、「指導計画と領域環境」、「保育の評価」、「小学校教育との関連性」、以上の47種類に分類することができた。

このように、保育内容「環境」の教科書において、主要事項として扱われている内容には、①「保育・幼児教育の基本」、「現代の保育の課題」、「教育・保育の思想」、「保育者の役割」、「保育者に必要な資質」、「環境を通して行う教育とは」、「生きる力を育む環境とは」、「保育の環境構成」、「保育内容とは」、「5領域とは」、「小学校教育との関連性」などのように学生が保育や教育に関する学習を進めていく上で基本的に重要だと思われる事項、②「領域環境とは」、「教育課程・保育課程と領域環境」、「領域環境の歴史の変遷」、「領域環境のねらい」、「領域環境の内容」などのように領域環境についての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、③「環境という言葉の意味」、「子どもにとっての環境とは」、「子どもの生活と環境の関わり」、「環境教育」などのように環境についての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、④「子どもを取り巻く環境の現状と課題」、「子どもの生活の課題」などのように今日の子どもたちの現状や課題についての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、⑤「園の環境との関わり」、「保育環境のあり方」、「環境への関わりを促す保育者の役割」、「領域環境と保育の実際」、「領域環境の実践上の留意点」などのように環境に配慮した保育の実際などについての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、⑥「子どもの発達」、「子どもの環境と関わる力の発達」などのように子どもの発達についての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、⑦「自然との関わり」、「自然を取り入れた遊び」、「季節の変化」、「生き物との関わり」、「植物との関わり」などのように子どもの自然・動植物・季節との関わりなどについての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、⑧「物や道具との関わり」、「文字や標識との

関わり」、「数や図形との関わり」、「科学遊び」、「身近な情報との関わり」などのように子どもと文字・数・科学・情報の関わりなどについての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、⑨「地域との関わり」、「行事との関わり」などのように子どもの地域や行事との関わりについての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、⑩「安全に配慮した環境」、「子育て支援と領域環境」、「気になる子ども・障害児と環境」などのように安全・子育て支援・障害児などに配慮した環境についての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、⑪「保育の計画」、「指導計画と領域環境」、「保育の評価」などのように計画立案や評価についての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、以上11の事項に分類することができた。

2) 7種類以上の教科書で主要事項として扱われていた内容

表2において○印が8つ付き、すべての教科書で主要事項として扱われていた内容として、「自然との関わり」、「文字や標識との関わり」、「数や図形との関わり」の3つが挙げられた。

表2において○印が7つ付き、7種類の教科書で主要事項として扱われていた内容として、「生き物との関わり」、「物や道具との関わり」の2つが挙げられた。

このように、8種類の教科書のうち7種類以上で主要事項として扱われていた内容には5つの事項が挙げられ、多くの教科書において、自然や生き物との関わり、文字や標識・数や図形・物や道具などとの関わりに関する内容が、保育内容「環境」を学ぶ上できわめて重要な事項として位置づけられていることがわかった。

3) 5～6種類の教科書で主要事項として扱われていた内容

表2において○印が6つ付き、6種類の教科書で主要事項として扱われていた内容として、「5領域とは」、「子どもの発達」の2つが挙げられた。

表2において○印が5つ付き、5種類の教科書で主要事項として扱われていた内容として、「保育・幼児教育の基本」、「領域環境とは」、「子どもを取り巻く環境の現状と課題」、「季節の変化」、「地域との関わり」、「園の環境との関わり」の6つが挙げられた。

このように、8種類の教科書のうち5～6種類で主要事項として扱われていた内容には8つの事項が挙げられ、5領域や領域環境、子どもの発達、保育・幼児教育の基本、子どもを取り巻く環境の現状と課題、園の環境や地域との関わり、季節の変化などに関する内容を、保育内容「環境」を学ぶ上で重要な事項として位置づけている教科書が半数以上を占めていることがわかった。

4) 3～4種類の教科書で主要事項として扱われていた内容

表2において○印が4つ付き、4種類の教科書で主要事項として扱われていた内容として、「保育者の役割」、「保育の環境構成」、「領域環境のねらい」、「子どもにとっての環境とは」、「領域環境と保育の実践」、「身近な情報との関わり」の6つが挙げられた。

表2において○印が3つ付き、3種類の教科書で主要事項として扱われていた内容として、「環境を通して行う教育とは」、「教育課程・保育課程と領域環境」、「領域環境の内容」、「環境という言葉の意味」、「保育環境のあり方」、「環境への関わりを促す保育者の役割」、「子どもの環境と関わる力の発達」、「植物との関わり」、「小学校教育との関連性」の9つが挙げられた。

このように、8種類の教科書のうち3～4種類で主要事項として扱われていた内容には15の事項が挙げられ、環境構成や保育者の役割、領域環境のねらいや内容、環境の概念や環境を通して行う教育、植物との関わり、情報との関わり、小学校教育との関連性などに関する内容を、保育内容

「環境」を学ぶ上で重要な事項として位置づけている教科書が半数近くあることがわかった。

5) 1～2種類の教科書で主要事項として扱われていた内容

表2において○印が2つ付き、2種類の教科書で主要事項として扱われていた内容として、「保育内容とは」、「自然を取り入れた遊び」、「行事との関わり」、「安全に配慮した環境」、「環境教育」、「気になる子ども・障害児と環境」、「保育の計画」の7つが挙げられた。

表2において○印が1つ付き、1種類の教科書で主要事項として扱われていた内容として、「現代の保育の課題」、「教育・保育の思想」、「保育者に必要な資質」、「生きる力を育む環境とは」、「領域環境の歴史の変遷」、「子どもの生活と環境の関わり」、「領域環境の実践上の留意点」、「子どもの生活の課題」、「科学遊び」、「子育て支援と領域環境」、「指導計画と領域環境」、「保育の評価」、以上の12種類が挙げられた。

このように、8種類の教科書のうち1～2種類で主要事項として扱われていた内容には19の事項が挙げられ、保育内容の考え方、環境教育、教育・保育の思想や課題、保育者の資質、領域環境の歴史、子どもの生活の課題や環境との関わり、自然や科学を取り入れた遊び、行事・安全・子育て支援・障害児との関わり、保育計画・指導計画の立案や評価などに関する内容を、保育内容「環境」を学ぶ上で重要な事項として位置づけている教科書は、比較的少ないことがわかった。

表2. 保育内容「環境」の各教科書の中で重要事項としてかなりの頁を使って扱われている内容

重要事項としてかなりの頁 を使って扱われている内容	教科書 1	教科書 2	教科書 3	教科書 4	教科書 5	教科書 6	教科書 7	教科書 8
保育・幼児教育の基本		○	○		○		○	○
現代の保育の課題					○			
教育・保育の思想	○							
保育者の役割		○		○	○			○
保育者に必要な資質	○							
環境を通して行う教育とは	○				○		○	
生きる力を育む環境とは							○	
保育の環境構成	○	○					○	○
保育内容とは		○				○		
5領域とは	○	○	○	○	○	○		
領域環境とは	○	○		○	○	○		

教育課程・保育課程と領域環境		○					○	○
領域環境の歴史の変遷		○						
領域環境のねらい	○			○			○	○
領域環境の内容	○						○	○
環境という言葉の意味	○		○	○				
子どもにとっての環境とは			○	○	○			○
子どもの生活と環境の関わり			○					
保育環境のあり方		○		○		○		
環境への関わりを促す保育者の役割	○			○	○			
領域環境と保育の実際		○		○	○	○		
領域環境の実践上の留意点		○						
子どもを取り巻く環境の現状と課題	○		○	○	○		○	
子どもの生活の課題	○							
子どもの発達	○	○	○	○	○		○	
子どもの環境と関わる力の発達		○	○	○				
自然との関わり	○	○	○	○	○	○	○	○
自然を取り入れた遊び					○			○
季節の変化	○			○	○		○	○
生き物との関わり	○	○	○	○	○		○	○
植物との関わり	○				○		○	
物や道具との関わり	○	○	○	○	○		○	○
文字や標識との関わり	○	○	○	○	○	○	○	○
数や図形との関わり	○	○	○	○	○	○	○	○
身近な情報との関わり		○		○	○			○
科学遊び								○
地域との関わり				○	○	○	○	○
行事との関わり		○						○
園の環境との関わり			○	○		○	○	○
安全に配慮した環境	○							○
環境教育	○							○
子育て支援と領域環境						○		
気になる子ども・障害児と環境							○	○
保育の計画		○	○					
指導計画と領域環境		○						
保育の評価		○						
小学校教育との関連性	○			○		○		

4. まとめ

保育内容「健康」および保育内容「環境」の教科書の中で扱われている内容の分析を通して、次のようなことがわかった。

保育内容「健康」の教科書において、主要事項として扱われている内容には、保育の考え方や保育者の役割など学生が保育や教育に関する学習を進めていく上で基本的に重要だと思われる事項、領域健康についての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、健康についての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、今日の子どもたちの現状や課題についての理解を深めていく上で重

要だと思われる事項、子どもの健康・運動・活動などの意識を高める方法についての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、子どもの発育発達についての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、子どもの体を使った遊びについての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、運動行事・運動指導・運動能力測定の方法などについての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、健康的な生活習慣の形成などについての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、子どもの安全についての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、子どもの健康管理についての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、計画立案や

評価についての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、以上12の事項に分類することができた。

保育内容「健康」の8種類の教科書の半数以上で主要事項として取り上げられ、扱われる頻度が高かった内容には、「基本的生活習慣の形成」、「安全管理・事故防止」、「安全教育・安全指導」、「子どもの体の発達」、「子どもの心の発達」、「園での子どもの生活」、「保育者の役割」、「領域健康の内容」、「子どもの運動発達」、「食育への取り組み」、「健康的な生活リズム」、「領域健康とは」、「領域健康のねらい」、「戸外遊びの大切さ」、「生活習慣形成のための家庭との連携」、「睡眠・食事・排泄・衣服・清潔」などが挙げられた。逆に、重要な事項だと思われるが、意外と扱われる頻度が低かった内容には、「保育者にとっての健康とは」、「子どもの健康な心と体」、「子どもの健康の現状と課題」、「子どもの遊びの現状」、「子どもの活動意欲を高めるには」、「子どもの健康を守るガイドライン」、「保育の評価」、「子どもの運動への関心を高めるには」、「体力・運動能力の測定・評価」、「保育の計画」、「指導案の作成」などが挙げられた。

保育内容「環境」の教科書において、主要事項として扱われている内容には、保育の考え方や保育者の役割など学生が保育や教育に関する学習を進めていく上で基本的に重要だと思われる事項、領域環境についての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、環境についての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、今日の子どもたちの現状や課題についての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、環境に配慮した保育の実態などについての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、子どもの発達についての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、子どもの自然・動植物・季節との関わりなどについての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、子どもと文字・数・科学・情報の関わりなどについての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、子どもの地域や行事との関わりについての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、安全・子育て支援・障害児などに配慮した環境についての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、計画立案

や評価についての理解を深めていく上で重要だと思われる事項、以上11の事項に分類することができた。

保育内容「環境」の8種類の教科書の半数以上で主要事項として取り上げられ、扱われる頻度が高かった内容には、「自然との関わり」、「文字や標識との関わり」、「数や図形との関わり」、「生き物との関わり」、「物や道具との関わり」、「5領域とは」、「子どもの発達」、「保育・幼児教育の基本」、「領域環境とは」、「子どもを取り巻く環境の現状と課題」、「季節の変化」、「地域との関わり」、「園の環境との関わり」などが挙げられた。逆に、重要な事項だと思われるが、意外と扱われる頻度が低かった内容には、「自然を取り入れた遊び」、「環境教育」、「生きる力を育む環境とは」、「子どもの生活と環境の関わり」、「領域環境の実践上の留意点」、「子どもの生活の課題」、「科学遊び」、「指導計画と領域環境」、「保育の評価」などが挙げられた。

このように、保育内容「健康」と保育内容「環境」の教科書のいずれにおいても、学生が保育の考え方や保育者の役割を理解していく上で必要となる知識、今日の子どもの現状や課題を理解していく上で必要となる知識、子どもの発育発達を理解していく上で必要となる知識などの習得を期待して、また保育内容「健康」の教科書では、領域健康の位置づけや健康の概念を理解していく上で必要となる知識、子どもの運動遊びの指導や基本的生活習慣の形成のために必要となる知識や技術、子どもの健康管理や安全管理のために必要となる知識や技術などの習得を期待して、さらに保育内容「環境」の教科書では、領域環境の位置づけや環境の概念を理解していく上で必要となる知識、環境に配慮した保育をすすめていく上で必要な知識や技術、子どもの自然や動植物との関わり、文字や数字との関わり、地域との関わりを深めていくために必要な知識や技術、安全などに配慮した環境づくりをすすめていく上で必要な知識や技術、計画立案や評価のために必要な知識や技術などの習得を期待して、教科書が出版されているものと考えられた。

<参考文献>

- 1) 井筒紫乃、川田裕次郎監修：幼稚園教諭・保育士をめざす保育内容「健康」，圭文堂，1-163. (2013)
- 2) 清水将之、相楽真樹子編著：ねらいと内容から学ぶ保育内容・領域健康，わかば社，1-168. (2015)
- 3) 前橋 明編著：コンパス保育内容健康，建帛社，1-216. (2018)
- 4) 河邊貴子、柴崎正行、杉原 隆編著：保育内容「健康」，ミネルヴァ書房，1-172. (2009)
- 5) 宮下恭子編著：改訂新版保育内容「健康」，大学図書出版，1-136. (2018)
- 6) 池田裕恵編著：子どもの元気を取り戻す保育内容健康改訂第2版，杏林書院，1-168. (2017)
- 7) 無藤 隆監修：新訂事例で学ぶ保育内容(領域)健康，萌文書林，1-232. (2018)
- 8) 井狩芳子著：演習保育内容「健康」－大人から子どもへつなぐ健康の視点，萌文書林，1-208. (2018)
- 9) 近藤幹生監修：生活事例からはじめる保育内容環境，青踏社，1-208. (2016)
- 10) 柴崎正行、若月芳浩編著：保育内容「環境」，ミネルヴァ書房，1-180. (2009)
- 11) 中沢和子著：新訂子どもと環境，萌文書林，1-156. (2013)
- 12) 榎沢良彦、入江礼子編著：シードブック保育内容環境，建帛社，1-200. (2015)
- 13) 無藤 隆監修：新訂事例で学ぶ保育内容(領域)環境，萌文書林，1-240. (2018)
- 14) 高橋貴志、目良秋子編著：コンパス保育内容環境，建帛社，1-144. (2018)
- 15) 酒井幸子、守 巧編著：保育内容「環境」あなたならどうしますか，萌文書林，1-240. (2016)
- 16) 無藤 隆、中坪史典、後藤範子 編著：新版保育内容「環境」，1-192，大学図書出版. (2018)
- 17) 田中達也：幼児期における保育者の役割－保育内容「健康」の実践－，佛教大学教育学部紀要第11巻，103-116. (2012)
- 18) 井上聖子：保育内容「健康」－子どもの体力・運動能力低下と幼児期の運動遊びの必要性－，帝京学園短期大学研究紀要第17巻，83-93. (2011)
- 19) 田辺昌吾：心身ともに健康な子どもを育むための保育者の資質について－「健康」保育者効力感からの検討－，四天王寺大学紀要第51巻，175-185. (2011)
- 20) 深澤瑞穂：保育内容「環境」に関する一考察－幼児の自然との関わり・生命尊重を中心に，有明教育芸術短期大学紀要第9巻，65-76. (2018)
- 21) 田尻由美子：保育内容環境の指導における環境教育的視点について，精華女子短期大学紀要第28巻，19-28. (2002)
- 22) 永田 誠：幼児期からの環境教育と保育内容「環境」の接点に関する考察－小鳩の家保育園の取り組みを事例に－，生活体験学習研究第14巻，1-11. (2014)